



福岡医発第234号（地）

平成28年4月19日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会

会長 松田 峻一良

（公 印 省 略）

平成28年(2016年)熊本地震における
日本医師会災害医療チーム(JMAT)派遣について（お願い）

熊本地震への日本医師会災害医療チーム(JMAT)の編成につきましては、平成28年4月16日付け福岡医発第208号（地）にてお願いしておりましたが、16日の本震発生等の状況を踏まえ、JMATの派遣元となる医師会を、全国の都道府県医師会に拡大することとした旨、日本医師会より別紙のとおり正式に派遣依頼がありました。

つきましては、改めて災害医療チームの派遣についてご協力いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、

- 1) チーム構成員の氏名、職種、緊急連絡先、責任者氏名、携帯及び活動可能期間等を別紙にご記入いただき、本会地域医療課までメール(fpma-chiiki@fukuoka.med.or.jp)にてご提出ください。本申込をすれば、日本医師会が契約している傷害保険が適用されます。
- 2) 派遣期間は1チーム3泊4日としますが、今後の状況によって変更する可能性があります。派遣開始時期は4月24日（日）以降になる見込みです。派遣の日程につきましては、ご希望に添えないこともありますので、何卒ご了承ください。また、18日現在での派遣先は、熊本市への派遣となっております。今後の連絡は、申込書に記載の責任者連絡先E-mailにご連絡させていただきます。
- 3) 現地等への交通手段はそれぞれ手配していただくことといたします。断水及び物資不足のため、手袋、マスクは大量に持参され、食糧・飲料水を確保の上、出勤をしてください。
- 4) 宿泊先は熊本県医師会で手配していただいておりますが、熊本市内が断水等のため宿泊先の確保が困難な状況で、場合によっては、熊本県菊池郡や八代市での宿泊となりますので、何卒ご了承ください。
- 5) 別添の「JMAT活動報告書」にご記入の上、FAX（092-411-6858）にて本会地域医療課まで送信してください。

小郡三井医師会より

救急災害医療担当理事 吉武靖博

会長 廣瀬真恵

上記の災害医療チームとしてご協力いただける方は、別紙にご記入いただき当医師会事務局へご連絡ください。出来れば医師1～2名、看護師2名、事務員1名のチーム編成でお願いしたいとの県医師会の意向です。

- 6) 今般の J M A T 派遣は、「九州医師会連合会災害時医療救護協定書」(平成26年 7 月 4 日)を基本とし、九州各県医師会のチームを優先して派遣することになり、また、被災県医師会等のコーディネート機能に従うこととなります。
- 7) 災害救助法等の手続き等には、諸記録の作成も必要となります。その他、J M A T 活動に関しては、J M A T 要綱並びに今回添付する概要資料を参考にしてください。
- 8) 経費の負担につきましては、日医・福岡県医師会、災害救助法による対応となりますので、領収証は必ず保管しておいてください。支払方法等につきましては、改めてご連絡いたします。

「日本医師会災害医療チーム（JMAT）」申込書

（2016年4月14日熊本県を震源とする地震におけるJMAT派遣）

○申込日 平成 年 月 日

○都道府県医師会

	(ふりがな) 氏 名	連 絡 先
担当役員	おお き 木 大 木 實	大木整形・リハビリ医院 TEL 0 9 2 - 8 4 3 - 1 7 1 5
担当事務局	よし たけ とも ひろ 吉 武 友 裕	福岡県医師会地域医療課 TEL 0 9 2 - 4 3 1 - 6 8 5 8
緊急連絡先		

○チーム構成員 （※複数のチームを組織される場合はコピーにてご対応願います。）

	(ふりがな) 氏 名	年 齢	性 別	所 属	職 種	緊急連絡先 (確実に連絡のとれるところ)	専門分野
1 (責任者)							
2							
3							
4							
5							
6							

<責任者連絡先>

〒

TEL: 携帯:

FAX: E-mail:

○活動可能期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

※派遣についての詳細は、派遣に向けた準備が整い次第、都道府県医師会・チーム責任者の方へ
こちらからご連絡させていただきます。

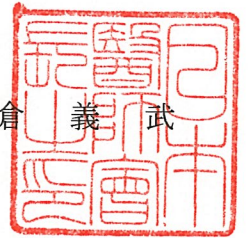
日医発第 77 号 (地 I F 19)

平成 28 年 4 月 16 日

都道府県医師会長 殿

日本医師会長

横 倉 義 武



平成 28 年 (2016 年) 熊本地震における日本医師会災害医療チーム
(JMAT) 派遣について

日本医師会災害医療チーム (JMAT) の被災地への派遣につきましては、4 月 15 日付日医発第 74 号及び第 75 号の文書をもって、ご連絡申し上げたところであります。

その際、熊本県医師会が編成する災害医療チームを、日本医師会災害医療チーム (JMAT) と位置づけることとしておりましたが、本日の本震発生等の状況を踏まえ、JMAT の派遣元となる医師会を、全国の都道府県医師会に拡大することといたしました。

なお、今般の JMAT 派遣は、「九州医師会連合会災害時医療救護協定書」(平成 26 年 7 月 4 日) を基本とし、九州各県医師会のチームを優先して派遣することいたします。また、被災県医師会等のコーディネート機能に従ってください。

つきましては、貴会における担当役員、事務局の氏名および連絡先、並びに各チーム構成員の連絡先、責任者名、電話番号、住所等を別紙にご記入いただき、本会対策本部宛に報告ください (担当: 地域医療第 1 課)。

また、災害医療チームは、自己完結型が原則であり、現地等への交通手段はそれぞれ手配していただくことになります。寝食につきましても、現地では十分でなく、同様の対応になろうと思います。また、災害救助法等の手続き等には、諸記録の作成も必要となります。その他、JMAT 活動に関しては、JMAT 要綱並びに今回添付する概要資料を参考にして下さい。

追って、本会として随時情報提供をいたしますが、これまでの「南海トラフ大震災を想定した衛星利用実証実験（防災訓練）」で使用したクラウド（クロノロジー、その他情報の掲載等）もご活用ください。

お問い合わせ先

日本医師会地域医療第1課

Tel 03-3942-6137 Fax 03-3946-2140

E-mail chiiki_1@po.med.or.jp

2016年4月熊本県を震源とする
地震におけるJMAT派遣

JMAT(日本医師会災害医療チーム)

日本
医師会

都道府県医師会に対し、JMAT結成の要請

都道府県
医師会

- JMATの結成・待機
- 必要な資器材、携行食料品等の調達
(寝食、携行医薬品等、交通手段は自己完結で
お願いします)
- 日本医師会へ結成の連絡(構成員等)
 - 都道府県医師会担当役員・事務局の緊急連絡先
 - チーム構成員の氏名、所属、職種、緊急連絡先、
専門分野等、活動可能期間 他※連絡が無いと、傷害保険の適用が受けられません

日本
医師会

各都道府県医師会からの連絡を受け、
被災地県医師会に伝達

被災地
医師会

日本医師会と、派遣するJMATを調整

日本
医師会

該当都道府県医師会に、被災地医師会から
の連絡を伝達

都道府県
医師会

該当JMATを派遣。支援活動の実施
(事務職員による記録の作成・報告等を含む)

以降、3～7日単位をメドとして、JMATの交代派遣の実施
現地医療ニーズの変化や医療機関の復興等を踏まえ、JMATの撤収、解散

JMATの概要

1

JMAT

- Japan Medical Association Team
- 日本医師会が、都道府県医師会の協力を得て編成し、被災地に派遣する医療チーム。
- 避難所等における医療・健康管理活動を中心として、主に災害急性期以降を担う。
- 東日本大震災の一年前、平成22年3月に「救急災害医療対策委員会」（小林國男帝京大学名誉教授委員長（当時））より創設を提言され、東日本大震災発生当時は養成方法の検討をしていたところであった。
- 平成24年3月に災害医療研修会を開催。25年6月にはJMAT携行医薬品リストを作成。

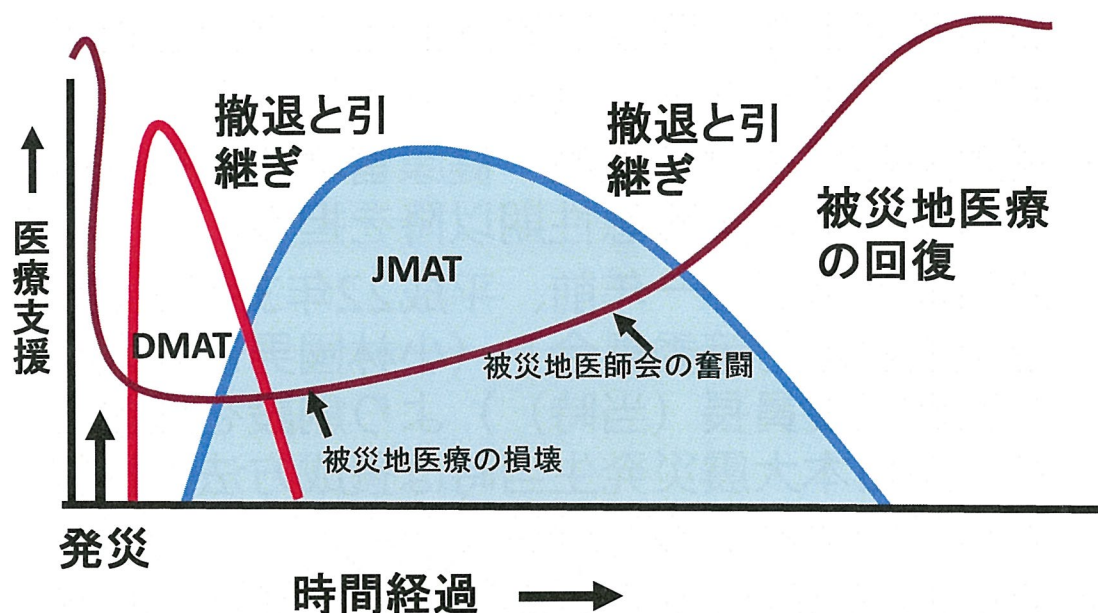
2

JMATの役割

- ① 避難者に対する医療、健康管理
- ② 避難所等の公衆衛生対策：感染症対策、避難者の健康状態、食生活の把握と改善
- ③ 在宅患者の医療、健康管理
- ④ 派遣先地域の医療ニーズの把握と評価
- ⑤ 医療支援が行き届いていない地域（医療支援空白地域）の把握、及び巡回診療等の実施
- ⑥ 現地の情報の収集・把握、共有
- ⑦ 被災地の医療関係者間の連絡会の設置支援
- ⑧ 患者移送
- ⑨ 再建後の被災地医療機関への引継ぎ

3

DMATとJMATの役割分担（概念図）



日本医師会「JMATに関する災害医療研修会」(平成24年3月10日)資料
 (「DMATとJMATの連携」(小林國男 日本医師会「救急災害医療対策委員会」委員長

4

被災地の都道府県医師会からの要請に基づくJMATの派遣

- 被災地の都道府県医師会は、「指定地方公共機関」(災害対策基本法、国民保護法)として、都道府県災害対策本部に参加して情報を把握。
- 行政や災害拠点病院等と連携して、都道府県レベルで医療チームのコーディネイト機能を担う。
- 被災地の都道府県医師会が関知せずにJMATが派遣され、**コーディネイト機能が混乱することがないよう、被災地の都道府県医師会からの要請に基づく派遣を原則とする。**

被災地のコーディネイト機能下でのJMAT活動

- 災害前および災害復興後に地域医療を担う郡市区医師会が地元でのコーディネイト機能を果たす事が望ましい。
- 連絡会や朝・夕のミーティングが、郡市区医師会長を議長として運営される事が、効率的な活動の継続にとって有効。
- 連絡会やミーティングには、JMAT、DMATや日赤チームなど、様々な医療支援チームが参加。

J M A T 活 動 報 告 書

活動日： 月 日 ()

報告者：_____

活動地：_____

現地受入れ統括者：_____

時間	場 所	活動内容 ※避難所（避難人数、診療人数、病名・その他を記載）

○ライフライン復旧： 電気 水道 ガス その他：

○医療ニーズ（隊員判断）： 極めて高い 高い 判断困難 低い

○必要品：

○申し送り・特記事項

--

JMAT携行医薬品リスト リストA(成人基本セット) Ver.1.0

※ 今後、薬価等を掲載する予定

名称	数量	種別	分類	メモ
ロキソニン	200	錠	鎮痛	3錠×3日×20名≒200錠
カロナール200mg	200	錠	鎮痛	3錠×3日×20名=200錠
ボルタレンSP 25mg	60	個	鎮痛	1錠頓服×1日3回×20名=60個
モーラス パップ30mg	80	袋	鎮痛	1袋7枚
モーラス テープ20mg	80	袋	鎮痛	(セルタッチ、ロキソニンテープ)
アタラックス-P注射液(25mg/ml)			じんましん様	
セレスタミン配合錠			じんましん様	
PA錠	200	錠	総合感冒薬	3錠×3日×20名=200錠
葛根湯(ツムラ)	200	2.5g包	総合感冒薬	3包×3日×20名=200包
SPTローチ	120	錠	総合感冒薬	1シート(6錠)×20名=120シート
オーグメンチン配合錠250RS	200	錠	一般感染症	3錠×3日×20名=200錠
セフゾン (100mg)	200	錠	一般感染症	3錠×3日×20名=200錠
クラビット500mg	60	錠	一般感染症	1錠×3日×20名=60錠
ジスロマック	60	錠	一般感染症	2錠×3日×10名=60錠
ガスターD10mg	200	錠	消化器	3錠×3日×20名=200錠
プリンペラン	50	錠	消化器	3錠×3日×5名=50錠
タケブロンOD15mg	30	錠	消化器	1錠×3日×10名=30錠
ブスコパン10mg	50	錠	消化器	3錠×3日×5名=50錠
ポステリザン F坐薬	20	個	消化器	1錠×2日×20名=20錠
強力ポステリザン軟膏	20	2g/個		
カマグ(マグミット330mg)	200	錠	消化器	3錠×3日×20名=200錠
ロペミン	40	CAP	消化器	1錠×2日×20名=20錠
センノサイド(プルゼニド)	40	錠	消化器	1錠×2日×20名=20錠
ムコスタ	200	錠	消化器	3錠×3日×20名=200錠
ビオフェルミンR(錠)	200	錠	消化器	3錠×3日×20名=200錠
(ガスコン)				
バイアスピリン	60	錠	循環器 抗血栓・抗凝固	1錠×3日×20名=60錠
ワーファリン1mg	60	錠	循環器 抗血栓・抗凝固	2錠×3日×10名=60錠
プラザキサ75mg	60	錠	循環器 抗血栓・抗凝固	2錠×3日×10名=30錠
パナルジン	60	錠	循環器 抗血栓・抗凝固	3錠×3日×5名=60錠
アマリール1mg	60	錠	糖尿病	2錠×3日×10名=60錠
ベイスン錠0.2	60	錠	糖尿病	2錠×3日×10名=60錠
ホクナリンテープ2mg	20	枚	気管支喘息	
テオドール200mg	60	錠	気管支喘息	2錠×3日×10名=60錠
メプチンエア	6	本	気管支喘息	
アドエア250ディスカス28吸入用	20	本	気管支喘息	
ムコダイン250mg	100	錠	呼吸器症状	3錠×3日×10名=100錠
トランサミン250mg	100	錠	呼吸器症状	3錠×3日×10名=100錠
メジコン	120	錠	呼吸器症状	2錠×3日×20名=120錠
リン酸コデイン散1%	100	G	呼吸器症状	1g分包×20名×5回=100g
アレロックOD5	120	錠	抗アレルギー	2錠×3日×20名=120錠
コールタイジン点鼻液	10	本	抗アレルギー+ステロイド	
ザジテン点眼液0.05%	10	本	抗アレルギー	
アムロジピンOD5mg(アムロジンOD)	60	錠	降圧薬	1錠×3日×20名=60錠
ディオバン40mg	60	錠	降圧薬	1錠×3日×20名=60錠
ニトロール	30	錠	狭心症・心不全	1錠×3日×10名=30錠 (シグマート、ニトロールR)
アーチスト10mg	30	錠	降圧薬	1錠×3日×10名=30錠
ラシックス錠20mg	30	錠	心不全	1錠×3日×10名=30錠
アルダクトン(25mg)	30	錠	心不全	1錠×3日×10名=30錠
フランドルテープ	30	枚	心不全	1枚×3日×10名=30枚
レニベース錠5	30	錠	抗高血圧薬+心不全	1錠×3日×10名=30錠 患者により、半分に割る。
プレドニゾロン5mg	100	錠	免疫抑制	
リンデロン0.5mg	20	錠	免疫抑制	
チラーヂンS (50μg又は25μg)	20	錠	甲状腺機能低下症	
アレビアチン錠100mg	40	錠	抗てんかん薬	
デパケンR100mg	40	錠	抗てんかん薬	
テグレトール(200mg)	20	錠	抗てんかん薬	
タミフル	200	錠	感染症	2錠×5日×20名=200錠
イナビル	20	本	感染症	
クラビット点眼(0.5%)	10	5ml/本	眼科疾患	
クラビット点眼(1.5%)				
フルメロン点眼(0.02%)	10	5ml/本	眼科疾患	
AZ点眼液0.02%	10	本	眼科疾患	
カリニューニ点眼液0.005%	10	本	眼科疾患(白内障)	
メリスロン錠6mg	60	錠	メニエール病	
リンデロンVG 5g	30	本	外用薬	30本は、火傷患者の発生を考慮したもの
ゲンタシン軟膏 10g	10	本	外用薬	

JMAT携行医薬品リスト リストA(成人基本セット) Ver.1.0

※ 今後、薬価等を掲載する予定

名称	数量	種別	分類	メモ
オイラックス軟膏	10	本	外用薬	
ゾビラックス軟膏	10	本	外用薬	
キシロカインゼリー	10	本	外用薬	
ケナログ軟膏 5g	10	本	外用薬	
ラミシールクリーム	10	本		
ラミシール外用液	10	本		
ビタメジン配合カプセル25	200	錠	総合ビタミン剤	
バルトレックス錠500		錠	帯状疱疹	
アズノール軟膏	10	本	湿疹	
イソジンガーグル液7%	20	本	口内炎	

簡易避難所評価表（2016 年 4 月）

記載者

記載日時

避難所名

住所

避難者数

災害弱者の割合

区分	項目	評価基準	評価
衣類	防寒具	健常者が活動、あるいは弱者が健康を維持するのに必要な防寒具が行き届いているか	
	衣類	恒常的に清潔な衣類(下着を含む)を着用できるか？	
食	食事	1 日 3 回、健康を維持するのに十分な食事を確保出来るか？	
	水	健康を維持するのに十分な飲料水を確保出来るか？	
住	水	健康を維持するのに十分な生活水を確保出来るか？	
	暖房等	健康を維持するのに必要な温室を恒常的に確保出来るか？	
	トイレ	最低限の数(20 名に 1 つ)、及び衛生状態を維持できるか？	
	入浴	定期的に入浴できるか？	
	生活必需品	健康を維持するのに必要な最低限の生活必需品を確保出来るか？	
医	薬	健康を維持するのに必要な最低限の薬剤を入手できるか	
	受診	医師に受診することが出来るか？	

評価は総合的に判断し、○、△、×、で記載する。

メモ